

支援事例

商工会名		熊本市北部 商工会	氏名	栗本香織	情報開示の可否	可
支援テーマ		持続化補助金	題名	お客様ニーズに合った商品づくり		

<支援企業の概要>

事業所名	株式会社ナチュラルコーヒー	従業員	6人	創業/ 会社設立	創業日	1994年10月1日
業種	飲食業・コーヒー豆卸小売り	うち家族従業員	1人		業歴	30年5ヶ月

○企業概要

株式会社ナチュラルコーヒーは代表が有機無農薬コーヒーと出会い、その美味しさをたくさんの人に感じてもらいたいという思いで創業。ブラジルで有機栽培コーヒー豆を育てている農家との出会いをきっかけにダイレクトトレードやフェアトレードをモットーに安心安全をコンセプトとした自家焙煎コーヒーを全国に販売開始。2017年に自家焙煎コーヒーとカレーを主にした軽食の提供を始める。地元で愛されるお店、地域の憩いの場を目指している企業である。

○支援のきっかけ（相談内容）・支援前の課題

地域でもスリランカカレーがおいしいと評判のお店に成長し、ランチ時は12時前から席が満席（収容可能人数24名）となり、お待ちのお客様が多い時で10数名発生している。テイクアウトで対応しても混雑時には提供に時間がかかり、お客様が諦めてお帰りになるケースが多々あった。これを解消しようと以前から冷凍お持ち帰り商品、家庭でもお店の味を楽しめる様に冷凍レトルトカレーの製造開発に取り組んでいたが、うまくいかず販売までにはいなかった。

【支援課題・支援計画】

支援課題は冷凍レトルトカレー商品開発を成功させること、これには設備導入が必要で小規模事業者持続化補助金を活用するために事業計画を策定支援するとなった。

○支援内容および支援後の状況・効果

1.小規模事業者持続化補助金の活用 これまでコロナ禍のステイホーム等でレトルト商品が売上を伸ばしている背景もあり代表もレトルトカレー開発（冷凍商品）に取り組んだが、味の再現が納得できないで商品化出来なかったが、真空包装機と急速冷凍機を導入することで対応が可能になると判断。コーヒー豆も鮮度を保ったまま保存が可能となる。専門家派遣も活用し事業計画書をブラッシュアップした。最初の相談から申請まで時間が結構あったので、何回もやり取りして計画内容の見直し、費用対効果や実現性等を検討した。申請した小規模事業者持続化補助金は採択を受けることが出来て、交付決定後、設備も無事に導入でき稼働も順調で冷凍カレーの販売までこぎつけた。お客様にも冷凍カレーの評判が良く販売を始めてから、製造が間に合わない時もあると代表の嬉しい声が聞けました。

○今後について（目標や課題など）

地域に愛されるお店としての地位は確立されてきており、安定した経営が見込める。代表は今後はさらに事業を拡大し、また新たな分野への進出も検討されている。